

教職員研究グループ活動状況報告

代表者の所 属・職・氏名	三木市立自由が丘東小学校 教諭 武田 庸助	研究グループ名 小中連携言語活動	35
-----------------	--------------------------	---------------------	----

研究テーマ分類番号 (6)

(1) 研究テーマ	
話すこと・聞くことの基礎基本としてのスピーチ指導の実践 ～小中連携の取組を通して～	
(2) 研究経過及び具体的な内容	
6月4日(水) 自由が丘東小学校 会議室 取組内容の検討。検討事項は以下の通り。 ① スピーチ指導を継続し、ビデオ撮影等を通して実践を記録し考察する。 ② 小学校・朝の会の中で、スピーチ指導を行う。 中学校・国語科(3年)の単元として、スピーチ指導を行う。 ③ 小中の交流を行い、課題等を話し合い、今後の指導内容を焦点化する。 ④ 指導者が互いに児童生徒の実態把握のためにスピーチの実際を見合う。 7月15日(火) 自由が丘中学校 3年3組教室 ① スピーチ指導の実際を参観する。(小学校から1名 大江) ② 10名のスピーチ発表。生徒の感想交流を行う。 ③ 国語科担当教諭(高田)より前回に比べ向上した点を評価する。 ④ 小学校教頭(大江)より感想とアドバイスをを行う。 8月22日(金) 自由が丘中学校 多目的室 自由中校区三校合同研修会 ① 自由が丘中学校 全学年国語科の時間における取り組みを実践報告 ② 自由が丘東小学校 全学年朝のスピーチにおける取り組みを実践報告 ③ 全体での報告の後、それぞれの取り組みをグループ別で交流する。 11月10日(月) 自由が丘東小学校 会議室 ① これまでの取り組みと課題を交流する。 【今後の取り組み】 中学校は、国語科の時間に小単元として取り組みを継続する。 小学校は、朝のスピーチとして取り組みを継続する。 課題 小学校で養われた力を中学校で伸長するには・・・ 以下の取り組みを確認する。 小学校では、本年度見直したスピーチテーマを計画通りに実践する。 また、スピーチメモの作成や活用を定着する。 小学校で養った基礎的な力を生かし、中学校語の時間に小単元として 年間計画の中に位置づけ、スピーチ体験を継続させる。その際、中学校 では、目的意識を持たせることを重視し、より主体的に取り組むように する。	